よくあるご質問
（日経平均・配当指数について）

株式会社 日本経済新聞社

（2021 年 10 月 1 日版）

QA-DP0-J-20211001

日経配当指数

■ 新聞に出ている日経配当指数とは何ですか

正式名称は「日経平均・配当指数」で、日経平均株価を１つの銘柄と見立てた場合、１年間でどれくらいの配当をもらえるのかを示します。日経平均株価に採用している２２５銘柄を、ある年の１月から１２月まで保有した場合の受取配当金が確定するたびに積み上げて算出します。２０１０年４月から算出、公表を開始しました。

■ 2012 年とか年号が付いているのはなぜですか

年ごとに、日経平均株価の構成銘柄の配当金額を積み上げるため、年号を持つ指数になります。例えば２０１２年の日経配当指数は、２０１２年１月から１２月まで日経平均株価構成銘柄を保有した場合の累積配当金額になります。現在の構成銘柄で言えば、２月中間（第２四半期）決算銘柄の配当金の反映を皮切りに、１２月本決算銘柄の配当が確定する４月初めをもって、その年の指数値は最終となります。

■ この値は何を意味しているのですか

日経平均株価の構成銘柄を日経平均株価の算出と同じウェートで保有したときの、累積配当金額になります。したがって、各銘柄の配当金は「株価換算係数」で調整し、配当権利落ち時点の「除数」で割った値を、積み上げていくことになります。いわば日経平均株価をひとつの銘柄と見立てたときの、インカムゲイン（配当）を意味します。

■ どういうときに値は変わるのですか

期末決算の配当は株主総会日の翌日、それ以外の配当（いわゆる中間配当など）は決算発表日の翌日に指数値に積み上げられます。日経平均株価の構成銘柄の大半は３月決算なので、３月期末配や中間配が確定する６月、１０～１１月に急上昇する傾向があります。

■ 過去のデータは入手できますか

本サイト「日経平均プロフィル」の日経平均・配当指数のページ、または「日経の指数」ページのダウンロードセンターで、日次データ３年分を取得できます（無料）。１９９８年度以降のデータや個別銘柄の配当状況など、指数値をトレースできるデータを、本サイトの有料ページで提供しています。

■ この指数に連動した金融商品はありますか。どういうときに利用するのですか

配当指数の最終値がいくらになるかを予想して売買する金融商品として「日経平均・配当指数先物」があります。大阪取引所とシンガポール取引所（ＳＧＸ）で売買されています。年別に大阪取引所に８本、ＳＧＸには１０本が上場しています。多くは機関投資家が活用していますが、個人の注文を取り次ぐ証券会社も出てきました。配当先物は、投資家が配当が増えるとみ

Copyright 2021 © Nikkei Inc. All rights reserved.

れば上昇し、配当が減るとみれば下落します。その年の配当が減りそうだと考えたときに先物を売っておき、売り建てた価格より低い価格で反対売買すればもうけが出るため、減配による収入減を補うことができます。また日経平均株価の連動運用者が、予想される受取配当を早めに確定させて現金化したり、将来の配当変動リスクを回避するという用途にも使われています。

Copyright 2021 © Nikkei Inc. All rights reserved.